

榎本産業株式会社

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間:2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



作成日： 2024年5月30日

環境経営方針

環境経営理念

榎本産業株式会社は産業廃棄物および一般廃棄物の収集運搬業を行っております。環境問題が世界共通の課題であることを認識し、廃棄物処理業を通じて出来る限りリサイクルを進めることにより、環境への負荷低減を行い、人と地球に優しい快適な環境作りに貢献し、次世代へ繋がる環境活動を実践してまいります。

環境保全への行動指針

次に掲げる指針を積極的に履行するとともに、環境経営の継続的改善に取り組めます。

- 1．事業活動に関連する環境関連法規制や交通規制を遵守します。
- 2．電力及び自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3．受託廃棄物の分別を推進し、再資源化に努めます。
- 4．適正な利用により節水に努めます。
- 5．社員とともに働きやすい職場づくりに努めます。
- 6．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2011年12月1日

改定日：2023年5月19日

榎本産業株式会社
代表取締役 **佐藤 渉平**

□組織の概要

更新日：2025年5月12日

- 1) 名称及び代表者名
榎本産業株式会社
代表取締役 佐藤 渉平
- 2) 所在地
本 社 山口県岩国市錦見6丁目15番27号
乙瀬倉庫(産業廃棄物積替え保管場所) 山口県岩国市小瀬源内1434
三井化学岩国廃棄物置場詰所 山口県玖珂郡和木町和木6丁目1-2
三井化学構内事務所 山口県玖珂郡和木町和木6丁目1-2
- 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 古川 純 TEL:0827-43-3366 MAIL:j.furukawa@oregano.ocn.ne.jp
担当者 前山 法子 TEL:0827-43-3366 MAIL:enomoto-sangyo@oregano.ocn.ne.jp
- 4) 事業内容
産業廃棄物及び一般廃棄物処理業

5) 事業の規模

法人設立 1965年7月
資本金 1,000万円
売上高 19,900万円 (2024年度実績)

	本社	乙瀬倉庫	三井化学IWY詰所	三井化学構内事務所
従業員	7 名	1 名	6 名	8 名
延べ床面積	110 m ²	190 m ²	m ²	53 m ²

受託した廃棄物の処理量(2024年度実績)

収集運搬量	5,153 t
-------	---------

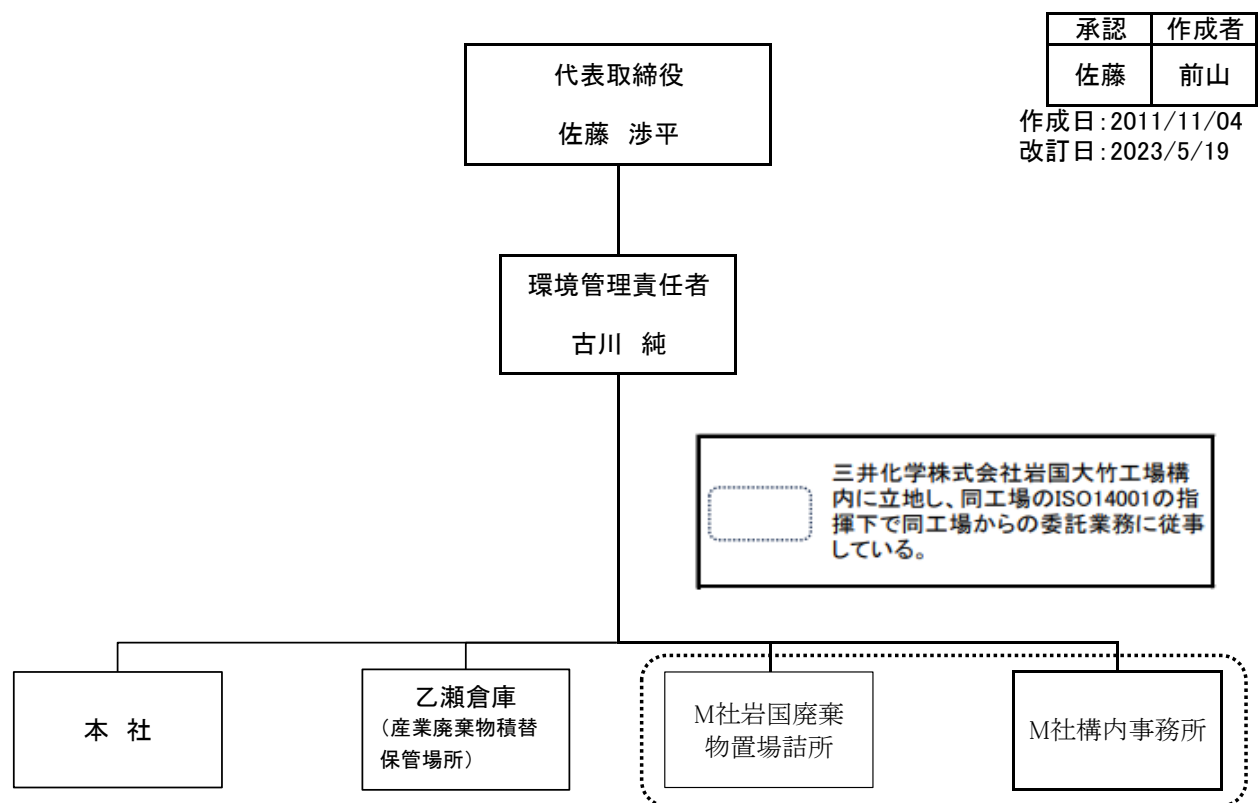
車種	台数	備 考
パッカー	2 台	
ダンプ	1 台	
平ボディ	2 台	
アームロール	2 台	
ローリー	5 台	
ダンパー	3 台	
合計	15 台	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 榎本産業株式会社
対象事業所： 本社
乙瀬倉庫(産業廃棄物積替え保管場所)

活動： 産業廃棄物及び一般廃棄物処理業

□組織図及び実施体制



所属(役職)	役割・責任・権限・使命
代表者 (代表取締役社長)	全体の統括、環境経営方針の設定、環境への取組みを実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
環境管理責任者	全体の把握／環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備 考
岩国市	指令令2環境第1-15	令和6年4月1日	令和8年3月31日	
和木町	和住サ第426号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	
大竹市	指令市環第98号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	ばいじん	鉱さい
山口県	第03511006040号	令和2年6月25日	令和9年6月24日	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
広島県	第03400006040号	令和3年4月21日	令和10年4月20日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類												
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	燃え殻	ばいじん	13号廃棄物	感染性産業廃棄物	廃石綿等				
山口県	第03551006040号	令和4年11月7日	令和11年11月6日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
広島県	第03450006040号	令和4年11月14日	令和11年11月13日	無	○	○	○	○	○	○		○	○				

積替え又は保管を行う場所及び廃棄物の種類
所在地:山口県岩国市大字小瀬源内

種類	面積	保管上限	積み上げ高さ
廃プラ	36㎡	8t	屋内保管
廃油	36㎡	8t	屋内保管
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	50㎡	8t	容器保管
木くず	24㎡	8t	容器保管
紙くず	27㎡	8t	容器保管

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	90,510	93,505	96,967
受託収集運搬量	トン	5,711	4,243	5,152
廃棄物排出量	kg	215	191	191
一般廃棄物排出量	kg	215	191	191
産業廃棄物排出量	トン	0	0	0
水使用量	m ³	67	64	127

※二酸化炭素排出係数 0.545 kg-CO₂/kWh 中国電力(2022年度実績)の係数

□環境経営目標及びその実績

項 目 \ 年 度		基準値	2024年		評価	2025年	2026年
		基準年	目標（予定）	実績		目標（予定）	目標（予定）
電気使用量の維持管理	kg-CO2	2,465	2,465	2,412		2,465	2,465
	基準年度比	2023年		98%			
	行動（維持管理）		計画通りに行動する	行動率100%	○	計画通りに行動する	計画通りに行動する
灯油によるCO2排出量の一定化	kg-CO2	1,121	1,121	261	○	1,121	1,121
	基準年度比	2023年	100%	23%		100%	100%
自動車燃料によるCO2削減	kg-CO2	89,949	89,050	94,294	×	88,150	87,251
	基準年度比	2023年	99%	105%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	93,505	92,635	96,967	×	91,736	90,836
自社発生廃棄物量の削減努力	kg	191		191			
	基準年度比	2023年		100%			
	行動（維持管理）		計画通りに行動する	行動率100%	○	計画通りに行動する	計画通りに行動する
受託廃棄物のリサイクル化の向上	行動	—	計画通りに行動する	行動率100%	○	計画通りに行動する	計画通りに行動する
水使用量の維持管理	m³	64		127			
	基準年度比	2023年		198%			
	行動（維持管理）		計画通りに行動する	行動率100%	○	計画通りに行動する	計画通りに行動する
働きやすい職場づくり			作業の標準化 熱中症防止	実施	○	作業の標準化 熱中症防止	作業の標準化 熱中症防止
会社周辺の清掃			実施	実施		実施	実施
関係団体の環境活動参加			参加	参加		参加	参加

事業年度：4月1日～翌年3月31日

備考1 化学物質の使用はなし

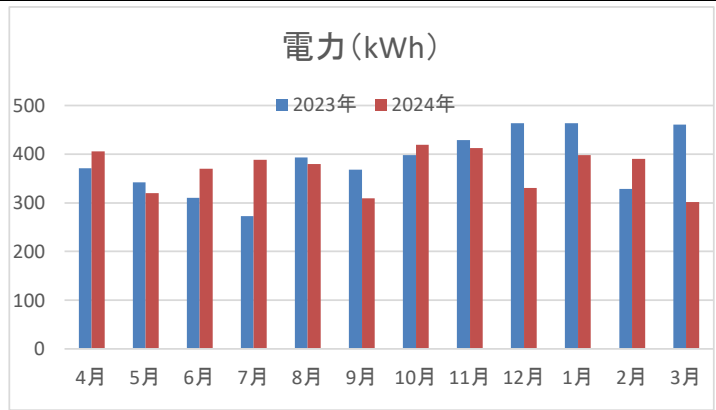
備考2 「電気使用量」、「自社発生廃棄物量」、「水使用量」の管理は事務をメインとする本社(対象者4名)のみであり、認証初年度より継続してきた取組みにさらなる環境負荷低減を追求することは現実的ではない。よって削減目標は定めず、維持管理(削減努力)することを目標とした。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値/行動目標:○達成 ×未達成

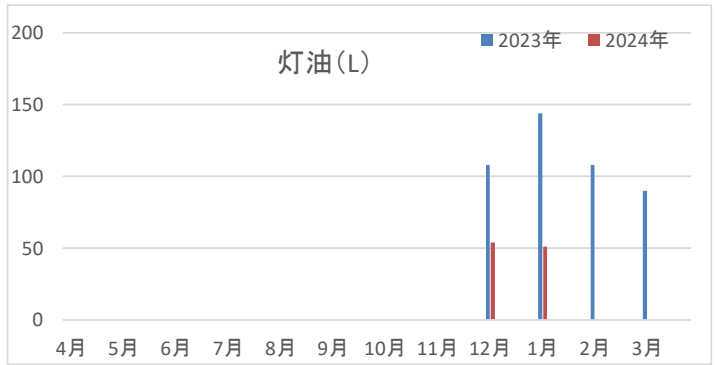
活動:○よくできた △あまりできなかった ×できなかった

電気使用量の維持管理	達成状況	取組結果とその評価
行動目標	○	一年間を通して維持管理に努めることができた。結果として昨年度比で2%の削減となった。次年度も継続して取組み電気使用量の維持管理に努めていく。
・冷房温度の適正化(原則冷房27℃)	○	
・ノー残業デー(1日/週)設定による使用時間の削減	○	
・不要照明の消灯	○	
・節電策の調査、検討	○	



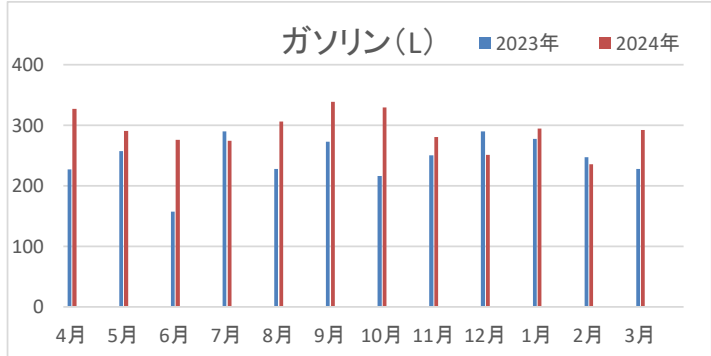
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	371	342	310	273	393	368	398	429	464	464	329	461
2024年	406	320	370	388	380	309	419	413	331	398	390	302

灯油によるCO2排出量の一定化	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	これまで冬場の暖房として本社の3部屋で灯油(ヒーター)を使用していたが、今年度は1部屋のみとした。(2部屋は電気(エアコン)使用)結果として昨年度と比べて大幅な削減となった。次年度の活動において、灯油の取り扱いを継続するか協議することとする。
・ノー残業デー(1日/週)設定による使用時の削減	○	
・退社時に消し忘れをしない	○	

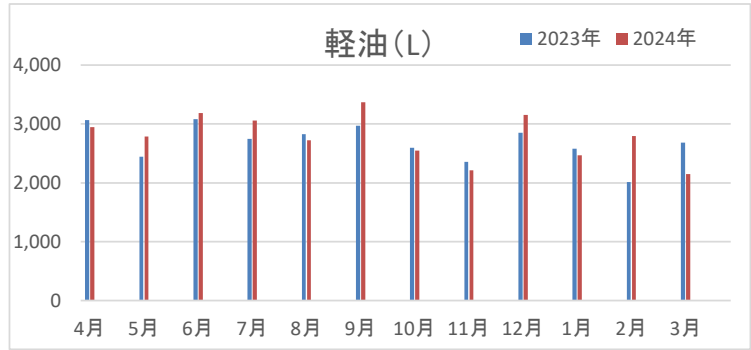


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	0	0	0	0	0	0	0	0	108	144	108	90
2024年	0	0	0	0	0	0	0	0	54	51	0	0

自動車燃料によるCO2削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	昨年度と比べ自動車燃料によるCO ₂ 排出量が5%増加した。要因としてトラック稼働数の増加に伴う軽油使用量の増加が挙げられる。一方で、定期点検は計画通り確実に実施することができた。今後も継続して取組んでいきたい。適正な車両点検を継続することは、CO ₂ 排出抑制だけでなく、燃料等の漏洩による環境汚染や、故障による走行不能で顧客の信頼低下といったリスクヘッジとなる。
・エコドライブの実践	○	
・定期点検の確実な実施	○	
・低燃費車への更新	○	

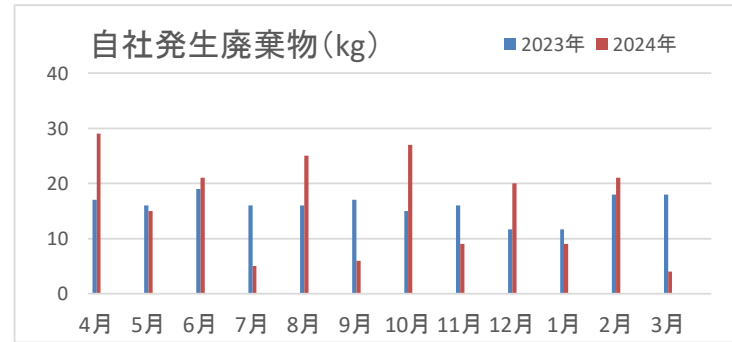


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	227	257	157	290	228	272	216	251	290	277	247	228
2024年	327	290	276	274	307	338	330	280	251	295	235	292



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	3,068	2,443	3,083	2,749	2,828	2,971	2,599	2,358	2,847	2,580	2,013	2,682
2024年	2,947	2,790	3,188	3,055	2,726	3,365	2,548	2,210	3,156	2,471	2,795	2,152

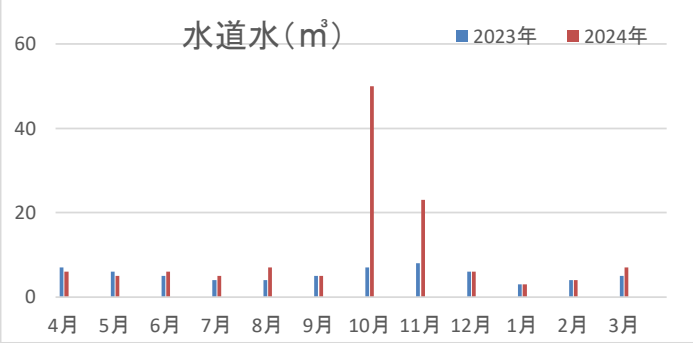
自社発生廃棄物量の削減努力	達成状況	取組結果とその評価
行動目標	○	一年間を通して廃棄物量の維持管理のための行動ができた。結果として、昨年度と同じ排出量となった。
・分別の徹底(出来る限り資源ごみとして廃棄)	○	
・不要紙の機密情報管理の徹底	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	17	16	19	16	16	17	15	16	12	12	18	18
2024年	29	15	21	5	25	6	27	9	20	9	21	4

受託廃棄物のリサイクル化の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標	○	0
・顧客(排出者)との定期的な面談	○	
・回収方法の見直し/検討	○	
・リサイクル先の開拓	○	

水使用量の維持管理	達成状況	取組結果とその評価
行動目標	○	2024年10月に水道管破損による漏水が発生したため、使用量は昨年に比べ大幅増となったが、定期点検により漏水量を一定の範囲で留めることができた。一年間通しては、水使用量の維持管理のための行動ができた。
・手洗い、洗い物において、日常的に節水を励行	○	
・使用後の蛇口の閉栓	○	
・水道配管からの漏水を定期的に点検	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	7	6	5	4	4	5	7	8	6	3	4	5
2024年	6	5	6	5	7	5	50	23	6	3	4	7

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価
・事務用品の購入時は積極的にグリーン商品を選択する	○	一年間を通してグリーン商品推進のための行動ができた。今年度は車両の更新はなかったが、情報収集に努めることができた。
・年間でグリーン商品を24回購入	○	
・車両購入の際は、低公害車を選択する	○	

働きやすい職場づくり	達成状況	取組結果とその評価
・業務の標準化により休日をより取りやすくする	○	今年度は2項目に取り組んだが、業務標準化としてジョブローテーションを採用し対象者への育成を開始した。次年度以降その効果に期待したい。熱中症対策として、安全ヘルメットを通風口付タイプに更新した。
・熱中症防止（ハード面の強化）	○	

地域や関係団体の環境活動へ参加	達成状況	取組結果とその評価
・会社周辺の清掃活動	○	一年間を通して会社周辺の清掃活動を計画通りに取組むことができた。10月5日にトラック協会主催のボランティア活動（周辺道路の一斉清掃）に参加
・関係団体のボランティア活動参加	○	

☐ 次年度の環境経営計画
 次年度も今年度の環境経営計画を継続して取組んでいく

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
消防法（危険物）	危険物の取り扱い
フロン排出抑制法	本社エアコン

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局より違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去一度もありません。

□環境コミュニケーション

社内常会の開催



弊社では、毎月1回全社員が集まり社内常会を開催しています。
主として、管理者による産廃処理業としての安全衛生に関わる
指導はもとより、エコアクション活動に関連する環境教育、
顧客業界の景況など、様々なテーマを取り上げて議論しています。



経営層による作業現場の巡回

弊社は従業員が働きやすい職場を目指し、経営層が日々、作業現場を巡回しています。巡回中は率先して、従業員とコミュニケーションを図ることにより従業員の職場内での悩みを解決する一助となったり、プライベートな話をし、職場内での良い雰囲気醸成を手助けを行っています。
また、経営層が日常的に顔を出すことで従業員が声を掛けやすく、職場の風通しを良好にする側面も持ち合わせているのではないかと考えています。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年5月29日

代表取締役 佐藤 渉平

評価と見直し

弊社の主業務である産業廃棄物処理業は、大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とし、気候危機や生物多様性の喪失など様々な負の外部性をもたらすリニア（直線）型の時代では、どのような方法でも廃棄物を処理することが社会から求められてきました。しかしながら昨今は、同業会が社会から求められているものが大きく変化している印象を受けます。サーキュラーエコノミーという考え方が主たる例で廃棄物を廃棄物とせず、いかに廃棄物を減容化・リサイクルするかが社会から求められてきていると実感しています。

そのような状況下、弊社におきましても排出事業者様から廃棄物の減容化・リサイクルに関しての相談を受けることが増加してきており、お客様のご期待に沿えるご提案を適宜行っております。

以下では、2023年度中に弊社で実施した環境負荷低減の行動について評価します。

2023年度は7項目の環境負荷低減における経営目標を掲げ、内6項目で目標を達成しました。

《電気使用量・CO2削減（灯油）・自社発生廃棄物・水使用量》

エコアクション取得当初から必要最低限度の目標に設定しており、これ以上に削減することは現実的ではないと判断し、現状維持を継続することを目標とし、今年度も必要最低限の消費に抑えることが出来ました。

《自動車燃料によるCO2削減》

2023年8月にローリー車を1台増車したことにより弊社車両の総保有台数が1車増加しました。増車に伴い、車両の稼働も増加し、軽油の使用量は当初計画していたものを超過してしまいました。当計画策定時には、増車の予定がなく、本目標値を見直す必要性があると認識しております。

また、軽油使用量は増加したものの、保有車両の低排出ガス認定車への入替を適宜実施しています。徐々にではありますが、アドブルー装着車両は増加しており、大気汚染の要因であるNOXガスの排出抑制が出来ていると感じております。

《受託廃棄物のリサイクル化》

お客様からの相談ごと（廃棄物の減容化・リサイクル化）に対して、最適な提案を行い問題を解決することに注力しております。

2023年度は、お客様へリサイクル施設の紹介を積極的に行い、年間30t程度の廃棄物がリサイクル品に変わりました。

今後もお客様の課題を解決し、廃棄物の減容化・リサイクル化に寄与していきたいと思っております。

《働きやすい職場づくり（自社HPの作成）》

2023年8月に自社HP開設。自社HPでは、弊社の企業内容や働き方、福利厚生等の情報開示を行っています。

HP開設後に採用面接を実施した際、弊社HPを閲覧した求職者が多く、あらかじめ弊社の働き方・福利厚生制度に対して理解を示した方が面接に参加するようになりました。

このような形で入社前の企業と求職者のミスマッチを事前に減らすことにより、定着率の向上を目指しています。

指示

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり